

産地パワーアップ事業
都道府県事業評価報告書

都道府県名 広島県

産地パワーアップ計画

地域協議会名	整理番号	地区名	対象作物	事業内容	成果目標の具体的な内容	目標数値				達成目標年度	取組主体の評価	地域協議会等の評価	都道府県における評価
						計画時	目標	実績	補正後実績				
安芸高田市農業再生協議会	3	安芸高田市小原	水稻	【機械リース】 ・精米機（5俵） 一式 【年間処理量 106.7t】	販売額の10%以上の増加	97,747円 /10a (H28)	109,528円 /10a (R1)	108,978円 /10a (R1)	95,477円 /10a (R1)	R3年度	<p>精米機導入に伴い、直接販売により米の販路拡大に取り組んだものの、成果目標である販売額が伸びず、達成率が△19.2%となった。</p> <p>また、生産面での目標の作付面積や出荷量についても達成できなかった。</p> <p>これは、8月下旬からの日照不足の影響を受けたことから全体的に生産量が減少したとともに収益性の高いはだか麦への経営転換が進んだことで、水稻の作付面積が増えなかった。</p> <p>ただ、販路を民間の卸業者に移行したことにより有利な販売価格で取引がされている。</p> <p>今後は、R2年度に基盤整備が完了する圃場を集積する計画であり、作付面積の拡大及び新たな販売先の確保による出荷量の増加や販路拡大が見込まれること等、成果目標の達成に向けて改善が図られるまで指導を行う。</p>	<p>精米機のリース導入により実需者の求める品種を周年で精米供給することに取り組んだものの、販路の確保が難しく、成果目標達成率が△19.2%となり、目標達成されなかった。また、収益性の高いはだか麦への経営転換により米の作付面積も当初目標を下回った。</p> <p>今後は、令和2年度に基盤整備が完了する圃場を集積し、米の作付面積を増加させる計画であり、販路の開拓に努め、販売額の向上を目指す。また、異常気象等に対しては普及指導所等関係機関が連携し、米の収量を確保するよう支援を行う。</p>	<p>県平均達成率が目標未達成となった。</p> <p>未達となった要因は、水稻取組において、販売販路の確保が難しく、また、日照不足による生産量減少や、収益性の高い品目への経営転換により作付け面積が下回ったこと等が原因と考える。</p> <p>今後は、目標達成に向けて安芸高田市農業再生協議会に対し、作付面積の増加、販路の開拓等について、普及指導所等関係機関が連携して指導を行う。</p>